協選形に帰腹を射扱かれ に対しなく収収の中で回ち上り 際であた000年民が防空環へ飛び に直接弾を喰み、配著の五間先に ではわれくの職業主義の一段

情烈な航空 実職がラバウル上空或

だが全然傾傷には滑まされない

はその近路で行ばれる以上、こ

の庶民でよく戦の三分の一の航空

隊ならびに陸海軍地上部隊により撃墜せられたものは總計百八十二〇くうち不確實用一機)以除同十四日まで五日間に敵機來襲機敷延一千百十一機に達し、そのうちわが海軍航空部口が大力には、大日間門戦のジャンを襲撃の撃撃が強化した。ののは、一月十日の大力を大力を開発の軍権が発生している。

一百廿四機屠る

機及意

を撃破した、わが方の損害十三機

二月十二日には來襲せる敵機約二百四十機中その四十九機(うち不確實五機)を繫墜 二月十二日には來襲せる敵機約百六十機中その四十一機(うち不確實七機)を聲聲、

雘

わが方の損害土機

|月十一日には來襲せる敵機約||百機中その十九機(うち不確實五機)を繫墜、十機

一、二月十日は來襲せる敵機約二百機中をの七十機(うち不確實十二機)を驟墜、土職破四十二機である。わが方の損害は十九機ピと蜚麗經經の魏昭を飜えるる。路線の通り

土一機

B24廿一楼、1世二百九十五楼、("健康楼鼓》 下 B F 世五楼、P 6世五楼、P 8世五楼、P 7 日 1 世五楼、P 7 日 1 世五楼、P 7 日 1 世五楼、P 7 日 1 世五楼、P 7 世五春、P 7

股間機百七十機、B50廿四機、 ◆十日(※週機數) TBF八十機

パウル来側が横敷内端は左の通り一十日から十四日までの五日間のラ

わが方の損害一機

九機を撃破した、わが方の損害八機 二月十四日には來襲せる敵機約二

|百二十機中その三機(うち不確實)

機)を撃墜した

かつこの要塞ラバウルに今後も思

語は世血を消はせるのは銃後に

令部及び闘逐隊の合流明約三百餘 地岩田部隊は北祭糧(安平西北方

丹竹(鹰)飛行場

壁海全路兵の第カの殿であった、 というのる勢苦を翻へ恐んで融った。 というというでは、自の耐へ得る

福岡を企園する第中で調と越した。
が新観各部隊は県策なるが共調を
の開始である。即ち二月十四日規
の

第七頃分替令士禰中が含まれて

が歴史、魔教品小師六二

ラバウルこそは機能の科恩的要素

私に視らしたことがある、 数の格約庫ではないか

いひ他羅といひラバウルこそは、灰炭はさすがに凄いが飛行場と

敵司

令など戦死

冀中軍區掃共戰、敵屍二百餘

である、たべこの要率をこくまで

【石門士八日同盟】館水那と共に一

陳複數) TBF 计八模、B24一 阿機區计模、此二百四十一模(摩

B4U、F6R世 稷、計九學 一機(喉咙幾麼) FBF四邊、

二機、取鬪機三種、計九機(醛胺機強)TBF四機、

◆十四日 (來贈敵機數) TBF

家友院や子供から傾りを成ふの 地がのも感じい、歌地で自分の知人に 地がのも感じい、歌地で自分の知人に 地がのも感じい、でのをに自の 地がのも感じい、でのをに自の

一部を河中に道語め左の職果を駆けた

「一震迎合の大麻豚をもって脂質者、一にの生地十六日同盟」わが陸町 一

同形行場は最近液が削退を地とし 路及び出事施設の一部を燃催した一だし強さ

であらう

側も確認

影

の機能は去る十三日夕刻在支米空の機能は去る十三日夕刻在支米空

丹竹元代行場がを含証表、総武一方先部線関が湖に興へを態度にけ「機運合の大額線をもって監門省、一て利用計載してゐたもので、わが

わが方に収容せる敵死倒二二〇

れを設定河畔に鉄道戦争し、 を指述、至妙なる包閣或によりこ

飛髓機儿士五機、胜二百十八機 十機、B25十五機、B24廿八機

血は通ふ高角砲

ŦIJ 真用

總選擧を要求

主
以
ス
に
斜
し
、
ア
ル
ゼ
ン
チ
ン
の
民

軍隊に出動

リスポンナ 町が大統領プミレスに対し総強限。アイレスに同盟して自衆、ラウツ一郎で大月素命の指揮者ラウソント十一日発籍プラジルからプエノス

ンと我に反政帝派の南巨頭と目さ「アルゼンチンが福寧國に對して展」エノスアイレス殊電によれば政府

ナー日祭幣プラジルからプエノス あるが、今回の最後順應となって として、今回の歴度解験もこの問題」れていかとの風鬼は応く行はれて (近)

れる、なほ政府がかくる措置を選れる、なほ政府がかくる措置を選れる。ないは、一直の主席に離へて前部附近の であると見てある向もあるが、ブ

にとるだらうと機両する一種の 様はアルゼンテンが機関動行後も 体然循環に対応でとの支柱の影響で が地へないのでとの支柱の影響を が地へないのでとの支柱の影響を のではないかといか数にある

重慶向線送に

裝甲貨物機 米航空步將揚言

華大使

毛になるが大きない。一手になるが大きない。一手になるが大きない。一手には、一手には、一手になるが大きない。

、防御護嗣も勝れてゐるととはは従来に比して多層の

といはれる に原の物質を輸送することがま では、右目的達成 ヤ団<equation-block>関連の高は重要向物質輸送「リスポン十五日同盟」東南アジ イヤーは十五日次の通り捌割した 路の開發に簡配となってゐるが、 ユーデリ殊能によれば、アメリ **松光** 泉 で 日 方面 脱 祭 日 方面 脱 察

保有し得ること、併せて三億六年日説問を貸付資金ととが規定され、この金額の元本辺遺並に利子支種につかては関定され、この金

まな特殊技法。 学で困る

立派に上達する不思議

日間でペン毛筆共賞にどんな悪筆でも必ず十

には使用できるやうにならう、一般送機を引進してをり、この容像送機を引進してをり、この容 盤僧報部では十六日左

れ 本十六日 励新せられれ 本十六日 励新せられて日軽取官民前随節と想て日軽取官民前随節と想て日軽取官民前随節と想

路経法技達 なまる。グランロ はままる。グランロ はままる。

を勤むの實驗者皆大喜者望する方へ是非質習

は 時間づつの小忍耐僅か 十日間の人知れぬ間に かれる耐僅か

種される 内務解令(土(日) 重

療管東京五〇五四五 原管東京五〇五四五 原管東京五〇五四五

精

靈

爱

世給へ0

總督府辭令(五日) 獨

取がその削退を担こして登近新設 利用せんとしてるた度資保が付加 利用せんとしてるた度資保が付加 が近路ならがに取事過度を壊破し たが加盟幅も十五日の協会で同地 たが加盟幅も十五日の協会で同地

消 息

十八日退任離離挨拶のため発献 大山山元栗、苦崎といふものは、勝利者とか惶趣感

は愚媚であって、女のは愚媚であって、女の を持つてある省とかの

饕 木

龍 度工人生人会

中込所 響房

とニルスキーの顕末版をわれわれ は防空境の入口で『高碳、高碳』 |縁師レフラ歌・四と見たことが一般の大廉を目掛けて卵串す海原理||鈴の雅源は歌の目出を完全を続う| この空に新造機をが決定する人口で「路線・路線」| の謎/指を砂磨する紗の師がら数||仕掛けたやうた時代戦・路線を開けてみ、たのもいはりであるが深まり、日本の中では、一般の東に戦を担けてラスサルトの路が超をわれわれ、「戦と口の群に超を担けてラスサルト(鈴も原図の花火を一般自むかけて、像を整理する神経深久自傷の路にルスキーの路が超をわれわれ、「戦と口の群に超を担けている。 型化して來た或る上情が 敵がマーカスに上陸し、グロース この空に新造機を 來て見てびつくりした、敵機の ー岬に揚陸したのちに内地から

敵密集部隊に巨弾 ジャラ連襲九機撃墜

の朝の親一輩した。。 本た場目の郷のが間窓頭、ルビめる暦集の一人々々だとうて一では私に戻を動らして深か動る出って先頭。 を射状がれて ラベウル沖合 に懐一略かに起ってある。 徐ってラバウー に知ってばらたいのである。 とと て物館であり不然を譲ってあるといくよう、それは恰も風の脳中に耐つ鰯の巨人の如き捌さく抱かせる

「日々々が命掛けである

れてある、二月前旬の歳日除機米

際にはこれを強へ限つたわが

捕虜日く地獄行』

が手をかへ品をかへ飛行機の所を増大して明ひかつ八て來ようともわが陸軍將兵の

一頭り叩めれても叩かれても成庶氏の背無を磁悟の前で必死のラバウル攻略を目指してゐるのだ。だが如何に敵

廿機といる来島微機動も今では殆ど頭目その印を機へて目機、二百機といふのが普通になって來を、敵は文

ひ染みを様相を居じ日を求うて苛烈の度を加へてある。今年正月から二月にかけて敵の來郷は床に滅化し、十 ロースター卵とマーカス岬から、今やラバウルへの凝の脳反駁は飛行機と船と斜視圧然の形大な指を行んで無社

【ラパウルにて 荒尾海軍報道班 昌發】 ブーケンビルトロキナから、ニューブリテン局のグ

正に神技、撃墜比率

良いて落ちて行く双扇の版P38や機も四機も叫き磨してゐる。煙を

噴上る巨大な火柱

し見事に 脚を捕捉する、そして し見事に 脚を捕捉する、そして

数を曖昧する毎に無々自信の傾はと各個点では第十選の士気は高く

大芸地である前後の生産力にある それも かくつて大東距離針の 愚 てゐる、同時にラパウルを一歩路

金ピて

大攻郷に駆じ得る日、

空陸呼應、廿一

一機屠る

を

現へ

たわが

陸

就は

ならに

十四日

中戦によりとなを四機

機、撃墜の輝く大戦果を避難して計計二

りB4十二機、P4を一 整墜、また劉空火器によ

岸海上輸送路位盤には桂林米空軍が企岡しつくめる交換行場は脳西省東部にあり

計十四機墜墜

要塞ブパウルの守りは跳鹿を渡っ

守りは鐡壁、攻勢へ は現地層長全部の切費な機構で

工

ワク

-

六機と相手に空戦の結果一度に三

のけてある。一般が敵震闘機五機一会らにわが戦闘機の島事な激繁に

の戦争に文字前り象領域から離上 て必ず断機を観察してあるの戦争に文字前り象領域から離上 て必ず断機を観察してあるの地が

稷望

二機、計三機(野股機関)なし

(經路機數) B24一機、眼間機

のめしラバウルへ一歩も近谷ら

現地低〇〇巻説はさう翻ってあるの数形行場を組践して数に大指談。

らびに航空部隊はこれを選出、まの攻略に對しわが陸軍守備部隊な

にわたり敵に大抵戦を戦くてをりた航空部隊は激地に進攻して渡日 期がた

部院はこれを見散に邀贈して、空、たのをわが航空部隊ならびに地上 PA計約九十機が 來襲し

おけるわが方の損害は未断過配照機計廿二機を膨胀した、同心間に 機一機、地上でおける損害は強と

別を連ねて選起する職を営から一山峻中の 道路に刺蜒 トラツク に在罪、 最ぶやうにないないため 思ふやうにないないため 思ふやうにないないため はいるが、 というないたが というないため はいうないため 施設を脳完成してゐたも

マンをは、かくてアラカンは師・マンをは、かくてアラカンは師・ いもはや時日の問題となった。 口を出ずして昨春に敗信す のはあらになってある。その職権と 歌音本人は想定版を 意名でも、野着がパーても高齢 は、同いなない全人関が、保険の 年 得週間で 新して歌いくを開め、保険の は、言語の派式と・名の地では な、言語の派式と・名の地では が、これ けを見てしても彼が既には岩の立 怪器となるのを形と思は四所兵、場を是際してあるのだと云へる▲ に加入てあるのであって、これだ

て日本人の常師

て、「緑を観土的であったのは文献」 のボーシャは頭がの引得りに対し で、山シャは頭がの引得りに対し で、「おいま」が、「大地 を、ロシャは頭がの引得りに対し で、「大地 てあた米英が、鬼治の本住を現は に残ってある。然るに純土面をし 于 三 存 錠 当 鏣 朝鲜販賣店 新井號品工藝株式商獻 不可場合 實樂化學研究所 頭質品 排式資本 應急手岂備、 6 中四 武商店

郡職員に官吏訓 小磯總督、順天を視察 上別がし、午後三時世分間水に向りを落を一刻も早く前郷にある。それに下り郷川の場合をある。

カ、四日早 関三時を押して漁賃 れ、四日早 関三時を押して漁賃 の作業のは続ける

◇師殿教賞令版正=常年前順級かしてその要品左の所し

◆大日本竹英曾故一國家的奇英

きたいものだ。これを耐くため

とき仮念はどんな段がをいふか別

日より政権することになった、し 可を経定ので十七日公布、四月一と三頭令の敗正について上突仰跪

シントンやロンドンを占領された

電

推測、WTBが1カの人的対象、科 「M5、今次に至るまでの賦除物 「M5、今次に至るまでの賦除物

| 国天田西 | 公開の破場の間にあ | 個(とし) 一個が注音能に照得した
る小型観察は十六日平明十一度年 | 二大線目を2
「2000年の大型観察は十六日平明十一度年 | 二大線目を2
「2000年の大型に関す。十両時長から程 (1) 関係の本語とですること
「2000年の大型に対すること」
「2000年の大型に対すること』
「2000年の大型に対すること》
「2000年の大型に対すること』
「2000年の大型に対すること》
「2000年の大型に対すること》
「2000年の大型に対すること》
「2000年の大型に対すること》
「2000年の大型に対すること》
「2000年の大型に対すること》
「2000年の大

できる。連続作識状況を見ざに設置するが、 中最後の境帯については

機能は土八早後館水道。 「関水道語」全南北温寒中の小板 總督、麗水着

第一次 に名地閣所などを終いと映影して 本 即小時自動車で軍水及和郷に至り で本内第一次で東京の日報度点を映影して ・ 一次 に名地閣所などを終いと映影して ・ 一次 に名地閣所などを終いといい。 ・ 一次 に名地閣所などを終いといい。 ・ 一次 に名地閣所などを終める。 ・ 一次 にないました。 ・ 一次 にないまた。 ・ 一次 にないな のち光州競木前に向ひ、

の形像深く突入し、集積されてあ だ。一般は思っく遅れる中下 して敵の評後を深いたのである、

が、今回の設正でも一枚に男子 郎では家庭料を中心に教育を行ふいてこれに一般別科を加へ、女子 級校を合して金陵に五十三校でる 前的现在分子、李四郎

格せしめ、二年間を三年間とする限を刷新するためこれを訂立に昇 であるが、再生息複数自義成都は現在原成二年 アルバジル姉妹製品

炎腺桃扁 12炎耳中 12次耳中

学競牛作用、 畑い血比、 風頭作 樹粉の強い穀務作用、腫れた肉 對傷、皮膚院一切に用ひて卓攻用は朝ての外傷、やけど、常田 (有名類店にあり) 本部 新漢與基株式會計 OHO H 8

切傷に 非常的に必ず各戶で他へませ**う**。

庭 薬備

常

新しき物品と新たと演形され、特別はず期と聞ってある前別の終記である。それから物品はに近いてい。木の根やとかげを含ってなほ は機関されたものもあるのは勿論。これはも単や熱止税と受取ってよ

は、冷淡等ありしめざるやう、若くは、淡淡等ありしめざるやう、若くは

戦時即應の

に於ては常然朝鮮教育令の際に沿りをつけたものと同得べく、明鮮 れを以て一個酸時非常哲學の熱

そ既施されて行くのである。

見るが、中窓様校覧四年献とし

制を現行の六年間にしたことのが

て、國民は消傷の支持を増むもの と説牌特別の自途するところを十 でない。

取く
は今大陽民

慰校令

な

関民をして消費を徹底的に節約せ

検察を見たのであるが、今回取に

部時教育非常指置方派について 教學的措置

國際との窓がは、北部國内建築の る外華は上頭の別門物が守かりこる北原下側及頭越大瀬は、総館と によって一人でも対いの人称を跳昨年九月廿一日開語北京を見え たことに新穂して彩くる味、それ

ある、勝つためには戦力の大増削線は前烈なる決戦を概返して

前下げられ、ものによって

ら格式るかといる前因の工夫一

て行くことは出來ないはずである うでなければ一般この財役に加へ それと同時に観覚として希望し

町消にいかないと生活の設計が狂 けの物質の傾着を完全にして削ひ

定めてゐる。既に大祭、如門別被定の作為者の整備的自己以下ることを

育と収売を配かればならのは目だ この国民助員の指大こそ、先了改 関内の循環域の順化に分れるが、

力化、國民精神の報化といく完賞

指い期間としては、関目別校の協議でしたのである。

の四年制施行を縁上げ、四と公私の四年制施行を縁上げ、四と公私

とするものであり、國民劇校の人

2. 然もこれを演繹する時、石政 概としてあることを明かにしてあ にして刑が的なる戦力の増別を目

開師する指訟を施するを見て目的

版本的にソて『すか現がある。さ けで年に一千二百萬間からの校金版本的にソて『すか現がある。さ けで年に一千二百萬間からの校金版本的による。 を納め、それだけ公成の流行が被 ふことはおへただけでも、進んで

ないはずである。まを研究を持ふ、してはこれらの官の無数を残っま、行して公布もれた。不合はでのといればいる歌歌を関であるとして、でもなく自然的に生活を和下げて、第一般に関かなる難く、天山田歌の歌がを別述る かんてきがいばん、部かる別にし、祖に際し、風を数かにつき難問と、無理なれて不会の歌が表の歌がなり、行していました。

の脱瀬をが同にして現在の生活が、のの形態生活を規正すべき間既松 歌棋したりはしないで、現住これ 如何なる大角形に自由してもとも

が内地もなほ間消に置かれたこ

似であるが、たべ物品和に於 増税組は各税とも大郎内地と同

概に取けて十六日より内閣

生活設計を立て直 せ ないはずである。また税金を排ふないと投管し得る國民は一人もる

を同時に施すべきであり、國民と

「関の思控令など解解特別」が動

図内 喧響論立については『急遠

のんための音問と続して、来るべ のための音問と続して、来るべ

近って行った。「別を使んで世帯り、なく心語のわれて、木立と演奏大変がつて行った。「別を使んで世帯り、なく心語のりれて、木立と演奏でした。」で、地上で成れた知は空中戦でも、彼れた知は空中戦でも、

に築功、シンゼーア部落を中心にと続いて、改行したわが攻略は見事とがこの機を築せて、由日の夜隆

空に突入した

軍に合流の民人の民

や現骸に戈を源に取ってマユ山脈を四へ撃走する縁郎に迫ってマユ山脈

も印度國民 軍に投じ今

された、トングパザーを占領した

かくて財政國民国の総師チャンド財政職立の黎明献に極起してゐる

萬人に四十年

育英會法

など三勅令公布

ボース氏の大理様。一成力によ

果せるかな死物がひのスピット

や全く狂乱状態を能認するに至っれに呼順する荒野戦日の猛闘に今

き落レベンガル酸頭に白煙を吐か

へ、ハリケーン一、合計九機を加 会りに維け凱歌語らかに問題した

かくて激励作分ピットファイヤー

逃するものさへ見られた

ユ山梁の山嶮に振り戦車、自崩車「ビルマ〇〇法地十六日同盟」マ

の眼目をごくに渡見し得るのであ

もなく残された気からの反脳を試一

一般した断機は火を吹いて山腹に見なく迎腊められて、木立に激突大

は医療立の大いなる際型と気指す。

おいて伽藍を郷を大日本治英司法

↑常年必被職員の保給、常典、◇部年必後被背別國庫補助法数

など三法律、原配数符令の改正な

る敵の力及はざる足扱きが修足さ

四日以来の戦況を見るに、終始

増プラカン開節で 五半周に確認け

鈴木陸軍報道班員十六 【ビルマ前線基地にて

「日本代語」、観光音りでは表る十一般に歌劇が設置深深を歌聞として、「日本代語」、観光音の歌音におりを明ましめられ、異常天皇の歌画での記述を明音においた。 日本大学 は、日本大学 は、日本大学 は、日本 らせられたが、死る廿三百京 狭宗の報告を行はしめられ、明に 時組足够修理起工を告を行はしめ

御修理起工も仰出さる 随として勢向仰付けらる される

御決定を奉告

領として独向仰付けらる

として製品が付けらる

承明王御廷法定を告のため助団 窓告のため助 目の上でこの確事を見事にやってと踏つた、所がわが拒黙違は私の

「機名能書」既すぞうに、強機を終 おの数ツ只中に次込み、まる一 え、五十成もはる

慶天皇御陵 登頭、野布も南も幾け散ってあたり、枕の所と足の所に二種頭丸が こんな状態は戦が大関して来週す る限り運日池夜ラバウルの街の何

一般死を送げた、この時間者の無床

るるラバウルの強しい深こそ解後 な態じい日々の戦いの高中に在っ の質相なのであらう、むしろこん 空源では廿億歳の強大

ラバウルへ行くのは死にに行く

際定で一般の整理は今班から発布 所で の領に思学では九月既となる細 〇〇副語歌歌の司令はある日拍和 一頭の航空戦になて一段で相 第一頭の航空戦になて一段で相 第一頭の航空戦になて一段で相 を連続に対ない、まして一機で を連続に対ない、まして一機で を連続に対ない。まして一機で をご機等の関係もの機等することは 神技に近い技術と対峙力をもっ てゐない戦り不可能だ、むじろ 神技、一機對六機

進攻、排職し來ったスピットファイヤー 指抗、巨戦の耐を降らせて大抵策を吸へると共に、集結中の車機能及び近型性林の山積を燃料、敷飾所より火災を生ぜしめて登標的人 「ビルマ〇〇活地士八日同盟」ビルマ方面随電航空部隊開開機隊は十四日後年モンドー 総支無数問題機能は〇〇機の大振線を見て様世と接続された線像の位置戦内にのをうつ激第七帥主力継線を順下にシンゼーア上標に 八機、ハリケーン 上雲に進攻、月明を利して敗走の敵が

部隊を

認れたニグロ丘がブルブルはへて が顕紫の征攻に辿って一極度の一部にして爆撃銃隊の雨を降らせる

一機、合計・九機艦隊の大震災を照けた、この影響によりわが方また自然一種の禁い抑密を出した みんとする機機に簡平止めの一路 を主とする域戦闘機二十敗機と猛烈災放及祭中戦を展開、瞬く間にス・ピットファイヤ さては沙げ渡る英印発生が隣の頃、近れた帰殺とともにめり込むもの、

戦回の不可能なるを知らしめるに プチドン北方正面にあってわが攻 プチドン北方正面にあってわが攻 精脳を誇る 部 ・トング・バザーを占領を強の割 を変がいた友軍の領域により離ば ・トング・バザーを占領を強の割 とこくにあり、脳の心的なる常行 拾てられ、後で野を除 手段が生ごくと見られた しきはトラツクがら見北阿兵がこれに続きまだ

最前線に立たしめ、退ては印度兵、北阿兵を 悪に當つ **眞つ先に逃げ、印度兵却に際しては英將兵が**

の賞賞 地産に忙しい皆然の資産運用と貯蓄は「山一の投資信託」 を申込んで利強は専門家に委ねませう。 巧みな湿用で毎年 四分四五風の高率配営がある上に三年滿期には適用利益の 分配もあります。――只今慕鎬中。詳しい説明潔顥星― 刺網商企 山一證券京城支店 関などに対する関係を、保険に映 他の無法 非人道的なる 病院配機・ きつけたりはしない人日本の、 ものであって、特別問題を云々す す感じは、勝利者のみが持ち行る

する所と著へぬ破形、これか伴的を出したのを関系の面目 のだが、その得過国族などで出

すことが節後の破闘官話から突撃

しめて節約した金を貯蓄と廻

外の四〇に上った の四〇に上った

個五十錠のものが九國五十छにより電流された館百斤に付き三

入場稅

郷と竪谷が同じく三部から五部へ脈、現像などが三部から五部に、画

☆のが主歐であるからこれらの一般能は出來るだけ遠はずに日常の生活を引き ☆ 旧版るのが目的ではなく議合はる認識に個へ関連の部地解的を総成する。とい態的低度既、明觀人場然、明顯別別行総裁の四つの間接紙であるがこれは秘密を

買はぬ主義で貯蓄

とは出來ないのである。以下はこんどの激烈の特徴や三なる態度その秘密子の膀胱

窓の第2次昨年四月に勝加的| 五年以下の窓役と脱税器十倍の部| これがため陰原は維助金ともいへ| 戦費、銃後が引受けた あり徳州は採かつたのである。一窓的にかり載からようといなるので、 でつて 従來何 自何 干枚 といっ 多数 となって 従來何自何 干枚 といっ 多数 の告知語を必要としてゐたものが 耐及び異態の説明があり、午後四 器長から細目に直って税数を べき製造組合幹部百七十名を指集 際に近随されたが、京城税務器

たなこの部門に数がに同けられて あるのは音級でまつ終現の花代が 製金の自分の一百から一級三百に 総上つたのを完配に在代と続する

地での五面数に定食料金を分が四 第一十五数、六十数、十四二十五数 されたものに高度数、密熱物、製器 一 「超五十数、一回の五面製がの」、なっの影響となった。似等 変音の納犯主動を含き使せて限 新の間機能が近面を含え、似等 変音の納犯主動を含き使せて限 新の間機能が近面を含え、似等 現世である 「利理である

ア岩宛中である

遊與飮貪稅

領敗代リに納税切符

率となつたのである 百分の六〇の税率が百分の八のの

圓五十錢以上の定食客に

特別行爲稅、潔態の範

3

級別の新規税込納金は次の辿りで

著館は卅五銭が四十銭となり、

鐵、一番館は五十五歳が六十銭、 これよつて一番館は八十歳が九十

月から近施するものであるが特に

税を断行したのであるが全世

で 金を作為する』といる説明を抱めて の されたことは初めてのことであり、 ない。

であるかを物部つてあるのである

であるかを窺ふことができ、

業者の手で徴税

次に改正された四つの称を傾別に

答

物品税 唇、配容具

飲食の料金(但し繁数の花代は別郷から十二郷に、花代を作る遊野 バーなどの如き料理点における遊りが五部から十腑に、カフェー、 機格の定むるものが上

肥つて見違

る程

時に課税されるのである。その時に課税されるのである。その問題が製造場がら概任される問題、数は関、防臭難、海苔の十二二種目が製造場が、原始に関する。 ・
整は大いに帯虚されておでん屋、
・
の成像は大物から十二物にそれぞ

芸芸被求上必要なる重要を定じ他」とりしてこれを続付するのである。 常等が継げる戦闘であり既然他、申告書を取ったり、祝金を取離め が明確によいるのは物品の小質報 デカはその組合は組合員から毎月 非明確にといるのは物品の小質報 デカはその組合は組合員から毎月

前線に貯金で應へよう

機めれば、今う一般のれば』と

高を含めて九十百四十一萬餘四

早急質現した

5

医学博士 中福幸馬 西小朔町四一

座治明

電話光 @1960

港灣の風化

東上の小林局長語る

兩力士招聘

募某 東 大 員 所

劇

若

三月七日から郵貯の十二億突撃戦

さんの胸間に縛る大切な名札となれば 一門十名は十八日间の集合地で、国際用の名

五十韓王で、三國寺で、四國寺、レッ父の塾芸に庇ける郡を波の西「と遊った集闘党院としての立都な一種とその父母を隠奪興起るせた。一九鶴以下を除き「國寺で、二國「公山派首氏が惑恩の姿貌道を波動」もて藩のよぐと延高戦門から東門一様は、常備の本郷に紹介され郷「曾店の食家だり寛教師一國四十一世。多女子などでは非最重けなり東北倉田の東王・(七、公山瀬首氏(一)夏気領美主・(三) 我が子ならかと半筋線生が天明ル度所の第十 (七)公山郡吉氏(イ)恩兵波線記1 要が子ならかと半筋線生が天明ル度所の第十 (七)公山郡吉氏(イ)恩兵波線記1

「高温」

早くこのことを限

まじく入嫁してから一ケ月像を懸得した、半、近手で最しといっているる職様とい表をする。なきにつく、一日も早く開顔に迎き、顔をわの手もて頭じて米茂を疑惑せんとの意象する。なきにつく、一日も早く開顔に迎き、顔をわ 墨芸は斯くあり 父母方よ御安心 せたいと思ひ立ち、表る五日内 製兵として戦へられつくある世 しつかりと襲ってある氏は、

金がらさめて戦る組織の銃後を

君等も頼む… 優等も頑張る ずつと配りました、処頭するともので、こもらにあた際よりも

船艦

ドシーへ類む

市の場所、発音率で見る意味となっている。 を変まとなり、で記される場合では、まただ。 はくるまつているので 即ないくしても食べ の間となっとでも食べ の間となっとでも食べ の間となっとでも食べ を引くためなります。 を加いてのました。 を引くためなります。 を引くためるります。 を引くためなります。 を引くためなります。 を引くためなります。 を引くためない。 を引くためない。 を引くためない。 を引くためない。 を引くためない。 を引くためない。 を引くためない。 を引くためない。 を引くためるります。 を引くためるります。 を引くためる。 をした、 を引くためる。 をした、 を引くためる。 をした、 をした。 德永八完隆

日山

館樂喜

震擊後·医防壓·医公溜原門 壓就在庫豐富留世第 京城無線電機製作所 京城無線電機製作所

剔

京 實

高**真技師**。 入用 大邱府東城町 大邱府東城町 上上指導の

急日 こちじん 100 mm 100 mm

を に 発達を

除ス多

城

中國本的五十自一組一級大學家於大學家於如國家的一個一級的五十自一組一級的形態先生十個家族先生一個大學家的一個大學家的一個大學家的一個大學家的一個大學家的一個大學家的一個大學家的一個大學家的一個大學家的一個大學家的一個大學家的一個大學家的一個大學家的一个大學的一個大學家的一個大學家的一個大學家的一個大學家的一個大學家的一个大學,不是一个一個大學家的一个大學,不是一个一個大學家的一个大學,不是一个一個大學家的一个一個大學家的一個大學家的一

| 日本二十二日 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-10 | 1-1

場劇央中

れち強み

場劇経日京

教一造た

Ц

窓口の丁二

國防献金、

【鹽型】▲一千個或商質傳送中 型五丁音一一一種為一多▲四百八 七一個三十四級一川村均石町原始 11個三十四級一川村均石町原始 11個三十四級一川村均石町原始

けふから映畫入場料値上げ 九公路 | 四十金

かくして今世の財操によって、全 の問題として今世の財操によって、全 四日恵として毎の財産計算すれば、 年百六十八馬即といふ花大なる金 年百六十八馬即といふ花大なる金 士数篇 → 対人数(免疫性)

第一番など一倍以上によったとは着め、 ないのでは、一般につきけ間が五十回とない。

は百斤につき四國十五餘のものが

五端未満が一部五分から一部五分

も歩調を合せ映基端、演劇場をは

被恩遵の彩色馴懇が四部、皆並の一から一般水戦の三部にのレ上った

て霊被されてゐた印刷墨本が

靈也

本社寄託献金

町−ミンセハ洲を次郎▲七十二

一番館は九十銭

十四五十盛となった、サツカリン

その他の鉛座に船衛港及び等牙頭

品への職である、この他番弦、衛衛の機である、この他番弦、衛

が、十六日は当間のため征前通り は一窓入場際金の形上庁となった

入場税の身上げで金熊映光常設館

込料金 を領集することと なつた の窓金とし、十七日から新規の税

高質な物)緩物等の高質な物品は

▲ 五十個/川府宮田 閣等梁行図・同 日本二十四/川府宮田 京学/田・同

飛行機献納基金 新發明 代用空氣銃彈丸 一四點 一四點 一四點 一四點 一四點 一四點 一四點

朝鮮人樂統包株式會社 朝鮮人樂統包株式會社

學生豪集(宏的88)
原 天體 學 講 習 所順 天體 學 講 習 所可認例而第十九等百分公司,自然自由,不可以等一方公司,自然自由,不可以等一方公司,但是一方的都國際中九年百分人的。

AND THE PERSON

大蔵大臣認可、計理土の「京城計理事務所」で、「大蔵大臣認可、計理土の「京城計理事務所」で、「公園町」

意 こ日式で ニュ音楽 意爆查 撃 隊 冬ス 場劇陸大 一第

場劇-

京解當 城明 治 賣 店

見 舞

元武 文金着跳上 松道 药 新上 古自自己

場劇洋東

関もなりたい少年兵ノ神域や神の江東及長の間、通信指導を明正には、大阪の町では、大阪の町では、大阪の町では、大阪の町では、大阪の町には、大阪の町には、大阪の町には、大阪の町には、大阪の町には、大阪の町には、大阪の町には、大阪の町では、大阪の町で 場劇南城 座 富 新 館畫呼信和 館 花 浪

雷ゴロ吉下界修築である。大きとは一次の大平洋基地である。大学は一大学を地である。

ナ七日より二

專商

> チ軍減翼ス

座日朝

問、戦時間達生は、総名をも、が、こんはそれが一回となり、 つて集団と指版すのか その中で観な十年以下(淮東は三 を、その歌は一定)とのない。 年)その他で記念のみだったのが ても宮崎をもって理解する 三年以下の郷皮が子同年の海のは、海神なが、 三年以下の郷皮が子に、 まかなが、 一会、 に変はこつぐうな顔がに除る。 「一会はないのぐうな顔がに除る。 が、こんとはそれが一回となり、

ける思想手灣領域化のための國際院交往及な治安都持法の観りの表現手灣領域化のための國際院交往及な治安都持法の観

放火罪は從來と如何に避出來る

けて島軍への威嚇と、動勢の協びを分らあつ札作りと滑手、この日一日間で数百枚を仕上

せと騒び上げて來たが、十六日は一

連絡する傍ら掘って呼び名

恩金融十八百局の後出員を総助員 を中心に七日から十三日まで一週

A部部やの販正が去る十五日一部に公布され、三月十五 (Mに関する法律もこれに附続する明解小作副総令及び朝

は織力をあげて戦力の飛躍時増加に路の戦争が決蔵の影響と美人、いまや一個の影響が決成の影響と美人、いまや一個の

高校に過ぎられてるたが、これか 着は死刑、或は無刑、五年以上の 着は死刑、或は無刑、五年以上の

答問

らは肥滞が、軍くひきあげられた。 またが大場所が人の層ないとと、 またが大場所が人の層ないとと、 あでは位を、軍のような。

東部了の財活院部の重要性を減し、維着及びまたして労を助けたもの 間、会集財法、観測財害と法というと、年以上の報じ、企業は「年以上十、元末れ、ないぞうには、党すべきで、は書して財けたものである。 2000 第12 中の報じ、前期がたり、自治、企業はこのぞうた協議と議会、教行助法律とは、 その中首船は十年以下(従来は三)以下の都役である るのかの 公共通信妨害とは何をい

建造物

施設を指域した治は十年

心からな無期または一年以上の総以れからな無期または一年以上の総以上のであって、従来は数なる出 作物及び国際を切断した場合をい 答頭與、簡與通信建物、工 間 収時下われく 展民大衆 に最も問題になる資産の 質情 みの選に新しゃ願々が下される が従来と疑る略は

占め遺産みに対する場形は関資人

著々に對し今回の特令が下つた不正の利益を得る目的をもつ

てゐるかぶ歌門されよう

は関連を主人であるが、 まったが記述と様式しなしば、今回より側、は繋ブローカーに頻 まったが記述と様式しなして、 なったが記述と様式しなして、 なったがのです。 なったが記述と様式しなかったが 決議下銃後の社會治安は、く強かつても耐服の壁と同じ地と公問題を生んであるが、さられ慚惟物を第三語に開発すべ

魔する者より思想なる々業務上

むといふ版刊である

腕関音金の授受」の罪である 特に一般が注意すべきは『戴時

ラジオのと 殿成道場を開設、一般の指揮に笛

17⊟

本人學生活

度高格地は三個五年両以降のう

列車『ひかり』で局長の椅子に就して十六日夜七時四十五分京城後

明 大日本相談論と関係を終い、今年 経験化とよる部族を全を終い、今年 正大日本相談論で開発が立て、一世大日本相談論で開発が立て、一大日本相談論で加速が大将郷を行る。 とと、なった、子の日本は協調観文部、上で日から報出総約は長部に相談。 マーナ・日から報出総約は長部に相談。 マーナ・日から報出総約は長部に相談。 マーナ・日から報出総約は長部に相談。

其締待詮提機 提出 整 強 他 切 遇 衛 類 格

必需品の風流なる物給関係を耐保 空間しんだ者に対しては五年以上って生活必需品を図占め、または 業務上不正の利益を得る目的をも るにある。従って今回の対象は て躍むことになったもので、法の ものが随意人の場合は欧洲をもつ

穴を全面的に地均らしたのである 答源、靈、靈、

をは手向以下の減乏である(企前 窓の現時間下の減乏である。(企前 窓の現時間下の減乏である)(企前 窓の現時間下の減乏である。(監察人の下の減乏) 既じて破らればならぬ、たとび主 励せられる 不法は人に存五法以上の総法 婦、家人の派階を得ても王人の承

二名以内に制限されたが主旨は一門刑事手結開係中、総破人が 郷郷の開連化にある、

をより飲み、一関早も一 のは、一般大学への称』をも・00 が、一般大学への称』をも・00 が、一般大学への称』をも・00 が、一般大学への称』をも・00 が、一般大学への称』をも・00 が、一般大学への称』をも・00 が、一般大学への称』をも・00 が、一般大学への称』をも・00 が、一般大学への称』をも・00 中 (10) 東京都資公園民港 (東波) (11) 東京都資公園民港 (11) 東京都資公園民港 (11) 東京都資公園民港

一〇國民部教が送『五年生の時間』
一〇國民部教が送『五年生の時間』
一〇國民部教が送『五年生の時間』

第一放送 朝 会主 ▲ 1 1 • 四五職場 東丘 A

七三番) 基集

陸海軍志願

堂 ななる

現を別すが迎き物してあってはな、楽部と三龍側で揺ける。第一緒に変を別すが迎き物してあってはな、楽部と三龍側で揺ける。第一緒に変更はもけっきょう

●●●●● 動ミアニニ やカプキキ

背田火の溪には前防隊、 謝 失火 御

阿保姆氏に一問一答を試みたく朝鮮曖昧刑事特別令くの

歴火管部下に生ずるかも知れない各種 今や歌源以至の副歌下、那響性所する 今の歌源以至の副歌下、那響性所する

防空感然下の影響及び歴火空線にもつてのぞんである。特にこれは

ある。特にこ

酸能を抑するもので、その中給ておける不能な行為に対し数学をる

てある。随窓総数の機が進行とは、これを下六月以上では以下が、各、映窓の機行の機が近し、間、正要減する機行、砂速が地帯が加速さ、一年以上上立年以下、それに指揮、使じてれる機能下、防窓の直接地・間、正要減する機行、砂速の機が返回。 一年以上上立年以下、それに指揮、使じてれる機能下、防窓の直接地・間、正要対する機合、随窓総数の機行規能が回、弾しなった。

まで強敬などは被害者とその夫の 管訴によって成立したのが、

おり、関連のものかの。
関連のものかの。

たの経形では無別、若くは三年以上と 死刑でたは無別、若くは三年以上

長器、平衡関係の重要工業は勿れたものである。原宗権での他新しく規定されたものである。原宗権での他

概した者、吸さないまでも防空サ

してあるので、

半局は特に重工業が改造

の阻害その他の方法によう

促朱乙の郁以湘、疫情みに新し

の然役(従來は一百四以上の別の然役(従來は一百四以上の別

行を阻害する場合に適用される 港波洋機などがこれに入る、これ

間に自公吏の総記南正はまず

迷に破職しようとするにある

が政能的に裁判所に緊脳中の 新特別令にすれば一審別
・ 新特別令にすれば一審別

加速路梁妨害の場合にこ

贈賄はその取次ぎ者も處罰

の経済をは一民国以下の認金と

非常事態と耐へたのは勿論、それまで

・日本ニュース ・日本ニュース ・ 日本ニュース ・ 一 に 三 ・ 一 に 三

数道 药

天皇陛下御親拜

嚴かな祈年祭の御儀

ル頭頭を形成、一方のが悪気はその能度悪波な薬剤取を原用し、鍼の中国日本での五日間と配煙延二千百廿一物が郷土場効なラバウの歌を辿ってみるが、十六日のラバウル地は、二月十日

きもきし、第二階級服制との開脳を名目として米が太平洋医院に立っるところであって、時に英國が太平洋における米國の疑姻期行にや

重慶軍猛烈に

スチルウエルの事質

しかもクエゼリン上陸により敵の負職は従来に見ないを大なものと、内閣洋の徹々なる一段クエゼリン接触べの上陸に過ぎないのである

は絶對に許されない、われくに感ぎ対差に感気を断や尨大な犠牲に對してのみ目をむけること断や尨大な犠牲に對してのみ目をむけること

歴史を財役せればならないところに、われに限を新すことを終れる

いが態度ならびに敵のこの不逞な野望は最初より

とつては待ちに待つた。敵撃滅の絶好の機管と配じてあるのであって、今次敵の新攻勢 こそわが方に 作戦の利を極度に競弾し他勝自在の戦闘を展開し得る立場を確

は肺ら気性、変化の

なる。
いまだわれを後見せず、しかも
をあがいくの仰き数部的なものと、分の上空を周める、敵栗敵機が

・一数機動部隊近しとあれば

には歳ひは完全に一方的なもの

勝利に終った、

か方は短縮型製化せる有利な補給線と内線

なることは英國をはじめ歐ឃ然内部においてさへも強しく認めてゐ一

ラバウル・大名歌のラバウル『空からの歴史』は引

決戦

今本格的

段階

製品は繋が上でも前烈淡純の度を深め本格的決戦酸略に入ったこと なじめてのことであり

れば、在東北米運司令管スチルウ

中の印度公路は、副参明記では、中の印度公路は、副参明記では、工事が不可能であり、その完成は明確であり、その完成と明確であり、その完成が、明を明記では、

ずある、外性によると敵はマーシャル作戦用的に際しその編成し得 けにこれを機質に設別された敵の宣戦階略攻勢は注目すべきもの マーシャル マーシャル諸島に對する今次酸の新

開設を意ぐ必要があり、この方。 発力を脳化するため新ルートの 印度、ピルマ、支和を運結し輸

等の相談もなく至くステルウエル等の相談もなく至くステルウエル 翌2月 最近の東トルコ 軍事曹談決 【ベルリン 特電十五日 参戦の要認めず 士がの身勝手を排撃

小磯湖唇は後定道り午前九時光州の一夜を明した に対し、フラルウェルは級様して 心向つた、途中和職類がを脱裂す つたトルコの映画はこの身際手 とトルコの階度を非磁してあるが 日 國山の福東党を定めてあるの 軍の背後に進出して兵が は同く解領の不利傾向の意力が ついて土立日の 公義では 郷町中で いんだと言うてあるドイツ田の 南で 上東が 反極軸 軍神で いんだと言うてあるが今日代ル 地を占領したと愛するに登 かいかるドイツ田の歌の中で上東北が反極軸 軍神 で いんだと言うてあるでうけん 地を占領したと愛するに登 かいかるドイツ田の歌が中で、 この できない かいました いっぱい アーカー はいい アーカー はい アーカー 常に頭大である、英國はドイツ

【ベルリン十六日同四】 総統大本

十六日公報をもつて東部取締

あらせられて脳かなる前出窓の「五窓の駅間、黒脚の脈脈を弾く側は埋める。 天皇陛下三腰と神殿。ついて、鼻蠍蜒、神どとも蜘蛛派を見たる神歌線、大変とのというない。

その心度を表明するに至った、即

るめ、今日イノニュー大統領が 在語である。これを派遣する欄 【ベルリン士合同限】「戦に対抗を対抗を対抗を立ているという。」してあるが、これに背に不徹合 英空軍・伯林(建撃)があるなどを含った。 してあるが、これに背に不徹合 英空軍・伯林(建撃)があるなどを含った。 してあるが、これに背に不徹合 英空軍・伯林(建撃)があるなどであるとなり、中であると第(てある)

洋皮福州は司令部からの電報によ

日到日前の困難生および日本出地

製鐵增强~萬全

内地技術員を大量配置

れば、司令はマソカーサーな十六 初られたい、日本の最も加力な、一部のは一可だりでは勝利は一般に関係して、一般によってのみ遠せられ、そ

日本陸軍は强力

マツカーサーが悲鳴

獨の反撃奏効 ブスコフ攻略 海上封鎖と極緊のみをもつて日

あるまい、額々と生産される兵器、職場、食糧などが次々と遅滞なく陸軍に再軍によ 勝大な高度を描して正に星國の任亡節す大東部談話は一面が拾減の献ひた、或は國内 賦力地與の必要物資需要から民始級の賦保まで決勝の鍵は輸送にありとても過音では

の協力こそ決勝目指す徐後一個の総製的な質粉でなくてはならないのだ「異菌は上 条接される過し

き奏を見よ、

輸送力

こそ必勝の

観だ、

近知

解説

へ回ばれる

決能

影響

高微は天際、地際同係性に炎ひさ 歌歌源における赤里のブスコフ攻 歌歌源における赤里のブスコフ攻

れも極めて尨大道の増殖を要談される極めて尨大道の増殖を要談さ に加重し十九年度の縦内整線は特

東京電話 間接税の一部分は十一く跳った 水田財務局長談

ものではなく、深ろ消費の抑制

ても感飲所と大説者との間に十五六日朝鮮に於ても質慮され、京た六日朝鮮に於ても質慮され、京た

一込宗れるが、今回の間授税の始郎分は主として臨時組織費に縁

地方の土地の山のの田を御伊田 (株内工場に記載、接続的郷新機が一部がたる。118の江巻は路路収拾金、25、り段総はの大部のおかるもで 定、目下各工場よりの要求以数を

貯蓄目標は四、五割増

のため、引きつべき耐京の撤走で

貯蓄奨励の方策



僕もなりたい少年兵! 通信指導會 **烈校通信去學校野砲面他的** 年飛行兵队校上落队校少年

◆古谷傳一氏(京編女子投資原役)十七日朝廷田道治原上 その株利一氏(本店交通局長)十七日原直 答案前間券其他受險資利法を受益利法を表記が過速に簡単わかり少年、働きながら勉強して合格せよ 日本軍事教育會 消息 ロイマチス性疾患、神経済等はマ・B 新待し得と。 が変に由来する處大なりと推定せらる。 然も高單位製剤により初めてその効果を がで観測により初めてその効果を がある単位のマ・B 刺にして顔 本剤は張力高単位のマ・B 刺にして顔 類、消耗性・熱性疾患時、妊産・摂 薬の他 食慾不凝、胃肠緩力症、各型脚 乳時の禁養補給にも! ·加含有腦雞以替於

可传激市政大 社會或答案工品源田武





一人の陸軍を屈服させなけれる。

「ウスボン土自同盟」は政会国のベルリン機器に制し次一れておして駐走され、東京は大力の関係を任め、「大日下イツ戦のアスコラ関係第一マリントにソテン司令の引め渡りた。 大日下イツ戦のアスコラ関係第一マリントにソテン司令の引め渡りた。 大日下イツ戦のアスコラ関係第一マリントに対しては、東京のよりは、大田・アステンの関係。 拠してある模様で

のイタリヤ戦線ネツツノ翻頭策に

上頭境内のサルス

米國民憂慮

・宣戦は無根・

質宣傳を否定

鑑客に前中、他の一職はそのと繋裾を加へ一部はパルベン

すの引あげの完了に先をち十一部したが、魔心な反福軸軍は

に陥つてある際だ、他方ま立ル での都度猛反戦で監唆されど

獨軍に有利

ネツツノ情勢

を聴げず、更に太平洋戦局の進展

【ベルリン十六日同盟】獨選當局

の辿り割明した リヤ点限は極端長距離他の極力に

敵の誤略が躍んであることを懲戒られる、このことは油甑のならぬ な野児論が発頭しはじめたと解へ 度は戦局の将来に動する相當 には拗皮の樂融論の反動として今 も遅々をるものあり、米國民の間

頭が威級を堅持してゐる旨を明か 質問は十六日東部電線の観視な群 獨軍陣地堅持 獨空軍、アン

北部戦級の馬路はナルバー、 夜間器関機除は十五日夜頭温暖を 【ベルリン十六日同盟】ドイツ軍

損害三萬六千 英、伊上陸以來 開口関する総数なた的協立を では、 の設正から高級歌士の身子和歌 の設正から高級歌士の身子和歌 元ノ内大東叫曾昭で全日本王六千名は十七日子後二時

家族の法部総称権闘、派が年の の法部総称権闘、派が年の は、この日はとくに經濟議別指 が、この日はとくに經濟議別指 が、この日はとくに経済議別指





響で網である窓身がととアモく一般が耐に認動すれば辿りに無常 ◆……能送母艦の強や脳い時期◆……一般との洋上の大船側)。る、窓とて同様でむらう、劉嶽 となる 米、わが正遇を歪曲 對俘虜救恤品許與は承認濟

要減に変き要えばならぬ。
要減に変き要えばならぬ。
とない今回の好機を提へ一億總質全力を奮つて敵の議論問題について来窓歌像像とない今回の好機を提へ一億總質全力を奮つて敵の議論問題について来窓歌像像とない。 を行ひつくあるが、一月廿九日米 版 情報はどうなったか知らぬ でラチニヤスは また 関節次言ス 本園内諸地域の学典に違うた数(公正なるものの姓く歌略の意味となる。

利は保然トルコ側と拒る、変圏 大統領総第7~) はでのお近にも知るは親太武帝を供給 現法解除第7~) 日本政府は日本 原田じら即るは親太武帝を供給 現法的の教働品 してを全に過ぎない ない

日本は米國政府に関して定期的一言ふところの行方不明の数価品な

と三航を探げてこれに落へてある。と記案、同日米國際経営ハルも、と歴明、世界は敬意に集以を意画。これに属する報告に顧問派十字委に同意ない。 ない。 解して來た つて動物した例を依頼になって動物したがは第く結婚を終了して金のに同意ない。 これに属する報告に第一回交換配とよって動物したので、第一回で換配とよって動物したので、第一回で換配とよって動物したので、第一回で換配とよって動物にある。

| 管ふところの行方不明の数帳品な | 度はシペリナ部温線由で観差する| | では全く逆にして関節長官ハルの | を利用してリラジオ場響をするか 承認し、米國側が救働品をブ聯続

に 定別輸送問題に関する回答を養空 の配正なる反義を要求、當分の間 としてもこの製態に対する米園間

時にガステロ・ガンドルフオに収 い。ローマへの引むけず用売した、法 干臓は同時に次腫腫が引き他に顕 が、ローマへの引むけず用売した、法

製沈事件が勃逸したので、わが方 て死を伝か、毎月一千五百トン程 輸送に関してわが方の対策を求め 明した際、宅を吹いて傷を求める

所ねてウラジオより日本領域への

| 変調を織返した、逆手を取って、| 変調を織返した、逆手を取って、| あるのである。しかしながら教師

心の設置を競表すると同 心臓を提出、十四日 同時別

である保護に対する定期的救働品 電差の問題は、わびちうまで3 さらに米酸側がわが方に申し入れるの一部は減額を完了してある り、また第二回交換船によって到

◇……しかし参りの選擇にあっ

に分明するにも担らず、版は影響明と刻比すれば、その崩瘍は直ち 以上の交渉經緯を今回の敵側路へざるを得なくなつたのである

我数旨杯を陷てたる時期に於て りしかも空製は瞬時にして勝い

は、日本のでは、日本

この海戦に米國海軍は完全に破

11 **高評 高卵**

法王廳離宮を爆撃

表る十一日ローマ法王隆宮所在地

商 店

世乳を農富ならしめ乳見の發育を助く。 あ、悪阻その他偶發的諸症を未然に防ぎ、安産に導くと共にあ、悪阻その他偶發的諸症を未然に防ぎ、安産に導くと共に本劑は母體と胎兒に不可缺のカルシュームを補給し健康を進 ユームの摄取が必然的に要求される。 安産の要決は健康な母間にあり、母體の健康確保にはカルシ 片瀬隆原博士述『安産のために』冊子進呈 安産は健康な母體からん 崖 大阪市大淀區大仁東一 和田 卯 助 のために

経を駆けるに至らデナモ

対に許さないから所生通り五、六 と
 外来の離居に努めたが十九年度に 以外来の離居に努めたが十九年度に 以外来の離居に努めたが十九年度に は

一部は相似的上げ行られる、従って

目標は一千八百六十院西石石

長 換 接 田 拶 局

十五百六十億萬石で一千百 石の被収を見た、かくる米

所は所郷一字古品石に対

悪じい意象込みで、この日の勝 窓口は形に三百六十億周攻略の 窓口は形に三百六十億周攻略の

百萬石は内地に発出せればならなの他の微熱の陰格があるが、是非調に許さないから原年絶り五、六してこれが遠成とは金融の不足を してゆく、銀行は原は郷部の数 めの質財が許されない今日、銀 れもほしい~といった素態や肚できまして自己関係に駆け出 後になった、既に気利益次のた 収着である。あれもほしい、ことを誘う、緊張と関係機嫌は親 ひをもつ級 でめっまり 積極果 制度は力を破力化に合う的する この窓口こそ滅敵の追

世界が明らいてように相応しても場合は全方は上まれた。 一名、銀行の銀口が心まさき組か れては音の概念解性にはなが、近くになるうとの数異などにもの力の観めをはなしてはなり得、おもを接き集むと第一時の息が では、一名、銀行の銀口が心まさき組か ないでもっとこの数異などにもの力の観めをはなしてはなり得、おもを接き集むと第一時の息が では、一名、銀行の銀口が心まさき組か

東を敷へ上げる行員の指先からかためでもなく、景気のよい相がためでもなく、景気のよい相

增產

愕はなく、一切を雑ずでにようで第ではないから、一人の疑議ある

てあた。

わけである。から顔色は岩へ

姿形して、城を開いて居留地なく、一切を難けて元音の際

もてなした。

かついた気で、参出事件は平和役局したのであった。

なかった並出の人民の巣びは一般決した。どうなるかと安善

化してあると、呼る日、

左水便の制管と名服る李舜

耐へ合つた。

数は日々に沿

京成階段

--

地で「戦る然口へに在書こま 京三天衛川県連に四日、第一志殿 第三天衛川県連に四日、第一志殿

は銃弾をおりかざして北、 間中に成じた原征に基す「増融に複雑するのである際について採出所長がら」増融に複雑するのである

永同農業校昇格

を そ無性 出させなれ

氏とともに対爪なものである、こ

図が散金に 照でよう。 下小人なが今までの物信の信奉を、お金なんが第一部だ。 あげて でも間相長の・利住 をもうてやり到せるのかけ像の 下小人なが今までの物信の信奉 怪我の率の

質を表明してある、さて航気機林の日も休まずにやります。と回き決 して生活戦を殴び扱かんとする統 をその求る財政後の今日まで持続

しい仕事と云ふところから、豫 毎日下らなかった、特にむづか せいというないかった。特にむづか

された物はらず処日となったのかのはないというても何く休み、しいっても何く休み、しいっても何く休み、しいっても何く休み、しいってものが知例だい。

芸る八日白紙原名の会は山城と同 この機能の存在はその疑明者自谷 勿論で、政材を大切にする機能を

が、
の思北道内では現在のところ私立 商州関連規模はそのまえな。
では現在のところ私立 順に理丁素能則接の新設権級に出て抗州危酷」法文系統則後の停止

一封を上下の原別なく手渡した。

「月入日の大脳経験日のその日 いやな代名詞を完全に拭ひまり、 「部用の脚端の下つを銘的すべ」
いやな代名詞を完全に拭ひまり、

その後の感激的形間がりを見る

必勝増産へ戦ふ應徴士

の主流が最大の別にて渡る特別は、一般のような北の海路は第〇〇一で、三海上をちの土地にて渡る特別は、一般の土の地域を贈じひたなきに米が開放

機士をち

の解析を明く聞して打ち信は

まで引き上げられたのだ、殿舎と 就々たる原領士の名により限に様

ーにつきるのであった。正式こ

士たちは異女としてそれを腕間に たきらびやかな物質を戦いた機器

は、智な何のからの方法を断する手切り、智な何のからの方法を断する手切り、だが、全く機能殊というべきだら

れには質性傾もちよつと独談し

たむきに指南便率増進へ全身金へればかりかこの程気込みでひ

るによると確かに協衆より機倍

ものーナなけら病類やその他の事

/水んである敷人のものの

部を出し合ひ、跳程に厳党手織さ」を進めてをり、そのためには各とたちどころにその金幣まをは一一向上を目指して一類可成に比出 歓勤もぐつと減る賴母しさ

の配成をもつて脱場とし国家

湖には大きなものであった。

概に対能をしぼっての改良を加へ林麒の自谷が服制長はその巡視機

篤農家の座談會開

第七(県南)高木一批その自腐殖成を押せればならぬしか、東非唯一(周)ので腐骸はは難らば住宅間隙の放む、北非唯一(周)ので腐骸はは難らば住宅間隙の放む、中間、中間、中間、中間、中間、中間、中間、中間、中間

京城府郡郭仁紫家結成打合セ 仕奉家隊結成打合セ 存である。

體

験活か

增產

か
第一日の十七日は午前十時より
なった 催しこれら境階家の階級数を廃取日より十九日まで三日間に買り開 十九年度生帝目標他に各自の生命 的見信る別集を続じつくあるが、

天然痘に



選一川、 職政府警景城周邊と数 の短期以外が輸出したが、 然望原者が原規門強に後生した

生後一年末瀬の赤ん坊前径六歳

でも四月から開始する定期種類を ことくなった。なは京城肝節に譲

につきる。とその助操について次につうに高り百廿萬年民に注意を

はヶ根語の強いは種類を受けると 萬金を加す、京城侵入をねらる天 士二個の児童にも定期福度を行ひ

である。だから國民が独け入れてである。だから國民が独け入れている。 でもある、この窓口から物

本年度入學志願の狀況

0 門

殺到

盟科は依然として他校を扱いて穿 原題時内の城大路林を初め埋料料。き門を用出し、盟邦は十人招闘、盟邦時内の城大路林を初め埋料料。き門を用出し、盟邦は十人招闘、盟

では他やようがもないが、それで

一内高工の正確なる服を著

元吉の戦令がよく行はれたのだ。

取件の仲親で一寸男を上げ、

はるかに盛んに行はれたので

し文科は甲、乙共昨年までの飲は十三倍弱の激しまで、これに

けるものでむらう、同物料の

第三次徵用學徒訓練終了式 から風促の今後進むべき使命の山間で譲ず即示。大野風務局長 る腕根がに今後生涯即に飛びる

ればこそである、るるな

景 | 古台 | 電火ニニ 大会士 "西谷电量交通事态管温发层运营设置

究例會講演 音覧電で図語教育研 京阪町教 文化だより

選について』と 題する関語が 三茶地吡毛头〇三辈月長方に移0不經足城交紅 時內上頭町田 ◇祖東一氏(朝鮮文人程政曹)印

留

イチグモ

部选

菸

德·錫 永信品 **严** 智語

フゖ







★長島語切 昭和十九年二月二十 本長島語切 昭和十九年二月二十 大石田 全状及び間質受質者には開鮮器 (底落誤知) 御进 官関張塔一枚一句配 標語ある場合な完新順

廿日頃から一斉に豫防接種 び叫雄の勝必け聽

實物一閑散

の時れの大質に参加するもの

製錬再び低落の鬱顔

さい会員 があって、元 音の一部と手 の山きをお めの山きをお いて、耐空を なが、ではた たが、ではた

北海炭礦等務 弄點

る。だから省方でも信頼を以て相一

いか。
液賊などはいつれも不識無

多くの御不用品を御提出願ひま

があるといった者もあったが

性を解決して、廃來の脳域を一掃した。成為であったと同時に、 でに就いて政府の中には、元古

以前では、よるや素部はしまいと 歸る人

元吉は快く曾見した。 て解死に望みを願されてゐた かねく、日本の水量について 被は武料の試験にも及第し

死 蔵 品は生して使のなせっ!

二月十八日より 月

に交換品質場の品を御買上願へる 世 せう。不用品御提出の方は優先的 は 相通じ戦力增強に直接協力致しま て 不用品はお互に交換しあつて有無 一日より 交換品受付開始交換品受場開設 部

if

佐

佐霞

況

商

聚含み

吉がむじろ欣然として決略したこ

いる海洋が元吉を船に諸問し (117) 村松梢風(作)

岡本眼科 医学博士 岡本温 轍